



学校だより

校訓：豊かさ・確かさ・たくましさ



小田原市立橘中学校

令和7年12月12日発行 第9号

小田原市立橘中学校

校長 松澤 文恵

2025年も最後の月となりました。3年生は進路の最終面談を終えました。多くの生徒にとっては「自分の進道を自分で決める」という初めての経験をしている真っ最中です。1・2年生は9月からの4か月のまとめの時期です。15日(月)から始まる保護者面談で「自分の成長」と「これからがんばりたいこと」を保護者の方と先生の前で自分の言葉で語ってほしいです。

素敵な思いやりの連鎖

11月20日(木)1・2年生の定期テストの日のことです。この日は学校全体では掃除のない日だったのですが、放課後3年生が1・2年生の清掃場所を掃き掃除や拭き掃除をしてくれていたのです。3年生に聞くと、前々週の3年生がテストだった時に、1・2年生が3年生の清掃場所を掃除してくれたので、そのお返しなのだと教えてくれました。クラスで学年委員が声をかけ、集まった20人ほどの面々で分担して1・2年生の教室前廊下や渡り廊下を掃除してくれているのだとか。「こんなにゴミがある」と集めたゴミの多さに満面の笑みを浮かべ「1・2年生のみんな、明日のテストも頑張るね!」そんな気持ちで掃除をしてくれた3年生でした。

一週間後、2年生の職場体験が午後にありました。この日の昼休み、掃除ができなかった2年生の清掃場所を、今度は1年生が雑巾がけをしてくれていたのです。先生に指示されたわけでもないのに、自分たちでよいと考えたことを行動に移したわけです。素敵な思いやりの連鎖に心がとても温かくなった出来事でした。



静寂の中 一筆集中! ~席書大会~

12月8日(月)に席書大会を行いました。2・3年生は流れがわかっているので手際よく準備から片付けまでを行っていました。1年生も、はじめてながらきちんと落ち着いて筆を動かしていました。

大きな用紙に太い筆で書くのは、バランスや線の太さの調整が難しいものです。しかし、授業では黙々と手本と自分の書とを見比べ、1枚書くごとに添削しながら練習を重ねてきました。添削箇所を見ると、「そのとおり!」と納得できる的確な観察ぶり。自らの改善点を自覚し、よりよい

作品に仕上げるために努力をする。これは書写に限らず、様々なことに通用することですね。

今年も活動中は、校舎内に人がいないのではないかとはいく「しーん」とした状態で時間が流れていきました。自分の上達ぶり……自覚できていますか?

素敵な時間をありがとう。

(国語科 山崎)



自分との闘い~ロードレース大会

1年生、初めてのロードレースとは思えない素晴らしい走りでした。どの周数もペースが速く驚きました。

2年生、練習から一生懸命に、そして楽しそうに走っていましたね。本番も見ていて心を打たれました。給食後の走りにくい状況で、よくぞ走り切りました。

3年生、毎年あえてトップバッターは「3年生」にしています。3年生が頑張っている姿は下級生に大きな影響を与えようからです。今日のロードレースは3年生らしい立派な走り、見事に役目を果たしてくれました。

全学年、本当によく頑張りました。頑張る姿はやはり格好いいのと、応援したくなるのだと改めてそう思いました。素敵な時間をありがとう。(保健体育科 鈴木)



席書大会、ロードレース大会と盛りだくさんの週でした。担当者からの言葉が、偶然にも同じ一言(素敵な時間をありがとう)で終わっていることに気づいたでしょうか。中学生が真剣に取り組む姿には、人の胸を熱くさせる力があります。私もたくさんのパワーをもらいました。

これからも橘中生の頑張りを教職員全員で見守っていきます。保護者・地域の皆さんにおかれましても引き続きご支援くださいますようよろしくお願いします。